

東京オリンピックとその後の2025年問題

事務部長 **おの ひろゆき 大野 博敬**

二度目の夏のオリンピック

1964年の東京オリンピック、私は千葉県南端の館山市の小学1年生でした。

東京までは120kmほどですが、家族でオリンピックに行く人はなく、ほぼ各戸に普及したテレビ放送が大きな楽しみでした。重量上げの三宅選手、バレーボール東洋の魔女、体操日本の金メダルの勇姿は、今でも記憶に鮮明に浮かび、2020年はぜひ応援に行きたいと思っています。

オリンピックを見る年齢層はずいぶん変わります。

総務省が発表した現在の65歳以上人口は過去最高の3,186万人、人口の4人に1人の割合です。先の東京オリンピックの頃は660万人程度で人口の16人に1人でしたから、わが国の高齢化スピードは金メダル級です。第一次ベビーブームの団塊世代は、オリンピック5年後の2025年から、次々と75歳以上の後期高齢者に仲間入りし、国家は医療や福祉、年金などの社会保障費がますます増大していくことから「2025年問題」と言われ、マスコミにもよく取り上げられています。

このため社会保障の財源として消費税の増税とともに費用増大を抑制するため医療・福祉の提供体制の変革が

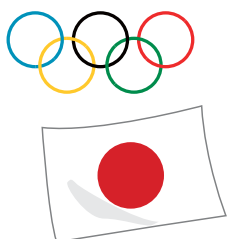
広く議論されており、病院は高度急性期、一般急性期(現在の当院)、回復期、療養に区分され、介護では介護施設、在宅サービスの利用というような機能分化と連携がより強く打ち出され、患者さんが自由に医療機関などを選べる幅が狭められていこうとしています。

世界一の高齢社会とオリンピック

今度の東京オリンピックの世界に示す一つのテーマは東日本大震災の復興ですが、世界一の高齢社会である日本人の活力を国外に見せるよい機会ともなりましょう。

高齢社会の財源として税金が上がるなど生活感は苦しくなりそうですが、健康年齢を高くすれば病気の出費も抑えられ、家計のバランスシートは安定します。

当院も地域の高齢化に合わせた診療機能の拡充はもとより、病気の予防や早期発見にも力を注ぎ、二度目の夏のオリンピックを迎えるみなさんの期待に応えていかなくてはなりません。



やさしい 疾患手帳

ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)のお話

一般・消化器外科副部長 **いとう りょう 伊藤 亮**



Profile プロフィール

- 所属 / 外科
- 役職 / 一般・消化器外科副部長
- 専門分野 / 上部消化管

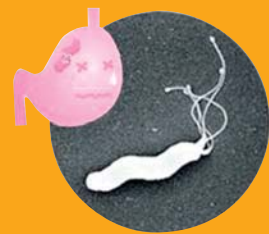
ヘリコバクター・ピロリは、胃癌、胃潰瘍などの原因となることは、皆さんよくご存じだとは思いますが。

ピロリ除菌治療の保険適応となっていたのは、以下の4つに限られていました。

- ①胃、十二指腸潰瘍
- ②胃MALTリンパ腫
- ③特発性血小板紫斑病
- ④早期胃癌のESD(内視鏡治療)後の再発予防

しかし、今年より慢性胃炎も除菌治療の保険適応になりました。ピロリ感染の早い段階にまで治療適応が拡大になり、胃癌の予防に大きな一歩になると見込まれています。胃癌の原因はピロリだけではなく、複合的な要因があると考えられていますが、除菌により胃癌発生リスクは3分の1程度まで減少するといわれています。

除菌治療では、プロトンポンプ阻害薬(抗潰瘍薬)



と抗菌薬2種類を1週間内服します。治療が終わった後に、必ず菌が消えたかどうか、内視鏡、尿、便検査などで効果判定を行うことが大事です。除菌によるメリットは、上にあげた様々な病気の発症を抑えることです。しかし、デメリットもあります。除菌により胃が元気になり、胃酸の分泌量が増え、逆流性食道炎を起こしたり、食欲が増えて体重が増え、メタボリック症候群の原因となったりもします。

胃癌の予防に何より大切なのは、健康な方は、健診・ドックなどを受けて自分の体をチェックすることです。症状のある方、胃炎、潰瘍などをお持ちの方は、定期的に内視鏡を受けることをお勧めします。

地域医療連携室

診療所・病院など医療機関との連絡窓口です。親切・丁寧・迅速な対応を心がけています。

業務内容

- 紹介状をお持ちの患者さんの外来受診・検査のご予約
- セカンドオピニオンの予約に関する相談
- 当院にかかりつけの患者さんへの、かかりつけ医となる診療所の紹介
- 紹介状・返書管理

紹介状をお持ちの方の電話予約時間

月曜～金曜 8:30～18:00
 ※歯科口腔外科のみ
 8:30～17:00(外来にて)
 電話 **053-401-1116**
 (地域医療連携室直通)



病院探険



地域医療連携課

地域完結型医療を目指します



医療相談室

医療福祉相談

医療福祉相談室では、患者さんの療養生活やご家族の負担が少しでも楽になるように、3名の専門の相談員(医療ソーシャルワーカー)と退院支援看護師がお手伝いいたします。療養生活上でお困りのことがありましたらお気軽にご利用ください。秘密は厳守します。

このような相談をお受けしています

- 医療費の支払いにお困りのとき
- 障害者手帳や障害年金、各種社会福祉制度の紹介
- 介護についてお困りのとき
- どこに相談したらよいかわからないことで、お困りのことや心配なことがあるとき
- 退院後の生活についてお困りのとき

受付時間と窓口

2階 医療社会事業部内 8:30～



新人研修医 紹介

なみかわ あきお

氏名 **並河 明雄**

- 初期研修医 ●趣味…ジョギング、音楽 ●好きな食べ物…さかな

未熟者ではありますが、何事も一生懸命に頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



EVENT 情報

第69回 日赤いきいき健康塾

- ◆日時 / 12月14日(土) 13:30開場 14:00開演
- ◆場所 / 浜松赤十字病院 2階研修ホール
- ◆講師 / 浜松赤十字病院 泌尿器科部長 **杉山 大樹**
- ◆演題 / 『血尿のお話 ～尿が伝える病気のサイン～』
- ◆対象者 / 150名(要事前申し込み)



●お問合せ・お申込み先 浜松赤十字病院 総務課
 電話: **053-401-1111** (代表)

ヴァイオリンコンサート

- ◆日時 / 11月22日(金) 15:00開演
- ◆場所 / 浜松赤十字病院 玄関ホール
- ◆出演者 / 小杉 結(ヴァイオリン), 鈴木 絵美(ピアノ)
- ◆曲目 / 「また君に恋してる」「津軽海峡冬景色」「ウイスキーが大好きでしょ」など

◆小杉 結プロフィール

浜北区生まれ(実家は病院のすぐ近く)。4歳よりヴァイオリンを始め、東京藝術大学附属高校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。現在、東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師。これまでに、浜松交響楽団、浜松市民オーケストラ、などと共演。「のだめカンタービレ」のオーケストラメンバーとして参加したほか、ミュージックフェアなどにも出演。

